

Miyazaki International College Course Syllabus Spring 2024

Course Title (Credits)	TCE320- Practicum 教育実習 (4 credits)
Course Designation for TC	教職に関する科目 Teaching licensing program related course
Content Teacher	
Instructor	早瀬 博範 (単独)
E-mail address	hhayase@miu.ac.jp
Office/Ext	1-208
Office hours	3 rd period on Wednesday

Course Description:

教育実習は、事前・事後指導と連結し、教職法の定める教職課程の必須の構成要素である。教育実習によって、学生は、学校教育の現実、生徒の理解のレベル、生徒への教育・進路指導の性質、科目の教授のプロセス、および、教職に関するその他の側面について体験する。教育実習中、学生は、教師になる上で必要不可欠で基礎的な実際の技能や精神面での心構えを向上させつつ、教職への自らの動機と適応について再確認する。

出身校ではない中学校・高等学校において3週間にわたり教科指導のみならず学校教育における様々な指導を受けながら実習する。実習内容は、(1)実習校の教育目標、経営方針、生徒指導、サービス(2)給食・清掃指導・クラブ活動などへの参観、及び活動への参加(3)学級経営へ参画し生徒理解を深め学級経営について学ぶと共に実践を行う(4)授業参観(英語科、道徳教育、特別活動)他大学の実習生の授業参観も含める(5)研究評価授業以上が主たる実習内容である。

教育実習によって実際に行われている学校教育を体験して日々の教育実践を通して、気付いた点、反省点、今後の課題などを詳細に記録して事後に整理しやすいようにしておくこと。

Course Objectives:

(1)実習校の教育目標、経営方針、生徒指導、サービス(2)給食・清掃指導・クラブ活動などへの参観、及び活動への参加(3)学級経営へ参画し生徒理解を深め学級経営について学ぶと共に実践を行う(4)授業参観(英語科、道徳教育、特別活動)他大学の実習生の授業参観も含める(5)研究評価授業などの主たる目標を実践することを通して「教育実習の意義と目的」を理解して実習に対する理解を深めると同時に実習生としての心構えを理解すること。

Course Schedule

5月後半から6月中旬にかけて、出身学校ではない中学校、もしくは高等学校において実習を行う。毎日、教育実習記録簿に実習の内容を詳細に記録し、実習終了後に提出する。実習中に実施された英語、道徳、学級活動それぞれの指導案については、記録簿に添付し、指導教員から受けた指導内容を詳細に記録する。研究評価授業の日程が決まり次第、大学の教科教育担当教員へすみやかに連絡をすること。連絡を受けた担当教員、教育実習指導委員会委員などが評価授業の参観、授業後の学生への指導助言、指導教員とのヒアリングなどを行う。

Day	Topic, Content/Activities
1	Students' Lesson Subjects, Grammar, Writings, Readings, Speaking, and Listening, Cross cultural Understanding
2	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
3	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School

4	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
5	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
6	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
7	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
8	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
9	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
10	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
11	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
12	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
13	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
14	Students Teaching Practice at Junior/Senior High School
15	Class observation and the Evaluation of the students' instruction

Required Materials:

学習指導要領(文部科学省編)、事前指導において使用した「英語科学習指導案(細案)」及び授業時において使用した Work Sheet の例文、自省記録のための sheet など

Course Policies (Attendance, etc.)

- ・教育実習の意義と目的」「留意すべき事項」等をしっかりと自覚して真摯にかつ熱心に実習に励むこと。
- ・ 服務規律を遵守して、欠席や遅刻をすることなく、積極的に実習に参加すること。病気 ほかの理由で遅刻する際には必ず指導教員(実習先学校、大学の教科教育担当教員)へ連絡を怠らないこと。
- ・ 時間の厳守、 礼儀作法の遵守。

Class Preparation and Review

教育実習事前・事後指導において実習への用意周到な準備、及び事後指導においては教育実習の総決算の意味でそれぞれの体験発表、今後の残された課題なども含めてまとめていく。

Students are expected to spend at least one hour reviewing and doing homework and one hour preparing for every hour of lesson time. (事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)

予習：テキストの指定された箇所を読んで、内容をまとめた上で授業に臨んでください。

Grades and Grading Standards

教育実習前の準備の状況や日常の授業における問題意識、意欲、態度などと教育実習終了後に提出する実習記録簿、体験発表等を参考にして総合的に評価する。また、県内で実習を実施する学生については、実習校を訪問し、実習に取り組んでいる学生の姿勢等についての指導教官等のコメントを参考にしたり、研究授業などを参観し、評価の一助とする。なお県外の学生についても、実際に出向いて評価授業を参観したり、指導教官等に電話で学生の実習状況を伺ったりする。評価に当たっては、実習記録簿や実習校からの評価が大きなウエイトを占めるが、最終的には教育実習指導委員会において審議して決定される。

学期末試験(80%)、課題レポート等(20%)

講義全体の三分の一以上の欠席は自動的に評価の対象外となる。

Methods of Feedback: 学生にスキルアップのためのフィードバックが与えられます

レポート

- ・ 答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。
- ・ コメントを記載して返却する。
- ・ 授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。
- ・ 答案例を配布する。

Diploma Policy Objectives:

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. Work completed in this course helps students achieve the Diploma Policy objective(s):2. The ability to identify and solve problems3. Advanced communicative proficiency in both Japanese and English |
| Notes: <ol style="list-style-type: none">1)教育実習の意義と目的 「留意すべき事項」等をしっかりと自覚して真摯にかつ熱心に 実習に励むこと。2)服務規律を遵守して、欠席や遅刻をすることなく、積極的に実習に参加すること。病気 ほかの理由で遅刻する際には必ず指導教員(実習先学校、大学の教科教育担当教員)へ連絡を怠ら ないこと。3)時間の厳守、礼儀作法の遵守。4) 真剣に授業に取り組むこと。英語科教育法の基本的な最初の科目であり、課題、内容ともか なるの努力を要することを銘記しておくこと。 |